

令和8年度都立千早高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の指導の充実 ・「書くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項に関して確認し、担当者間の認識を揃えていく。 ・レポートや小論文の作成、添削指導を定期的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の指導の充実のためビブリオバトル等の学習機会を充実させる。 ・「書くこと」の指導の充実のため外部機関を活用した小論文指導の機会を充実させる。
地理歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着 ・日本の歴史、文化および異文化理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の歴史の基礎的知識を養う ・日本と世界の文化や歴史の違いと、その元となる地理的条件を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本からの視点だけではなく、資料などから各国の差異を読み取り、相手の立場で考え、発表する。
公共	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着 ・公共的な空間における基本的原理について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務等に関わる事象について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内知識からの視点だけではなく、資料などから各国の政治、経済的視点を考え、自らの意見を発表する。
数学	<p>様々な事象を読み取り、数学的表現を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関数のグラフを読み取るだけでなく、身近な事象と関連付けることで、数学への興味・関心を高める。 ・同じ問題に対して別解を探究し、多様な考え方に触れることで、自らの思考の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価として、生徒自身に「自分が工夫した点」や「友達の発表で良かった点」を振り返らせる。 ・生徒の活動を段階的に評価する。
理科	<p>基礎的な知識の定着と、それをもとづく論理的考察を行う能力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共通履修科目の「科学と人間生活」「生物基礎」における興味を持たせる授業を実施。実験棟も行い、生徒自らの考察を促す授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択履修科目「化学基礎」および「生物基礎演習」において、一部理系分野への進学も視野に入れた、生徒自身が自ら基礎力を充実させ、応用力を高められる授業を実施
保健体育	<p>生涯を通じて自分や家族の健康課題に向き合うことに加え、運動に親しむことができる基礎的な知識・技能と体力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能や体力を高めていくなかで、運動の楽しさや喜びを味わえる授業の実施 ・グループで課題解決を目指し、互いに協働する授業の実施 ・自他の健康・安全に対する知識を得ることに加え、知識を活かして健康課題を考えることができる授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能を高めるなかで、仲間と楽しさや喜びを共有できる運動実践を選択する授業の導入 ・グループで運動計画を作成し、仲間と協働して計画的に運動実践する授業の導入 ・自分や家族について生涯を通じての健康課題を考え、仲間と共有して課題解決する授業の導入
外国語	<p>「使える英語を楽しく学ぶ」のローガンのもと、「使える英語」の精度を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用しながら3つの必修科目や選択授業を通して、さまざまな角度から生徒の文法や語彙の知識を深め、受信技能の精度を高める。 ・発信活動においては従来通り「伝える態度」を大事にすると同時に、正確な文法や語彙を使用し発信内容の質を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを使用した発表活動 ・フィリピン在住の講師との個別オンライン英会話 ・GE-NET20の検定補助利用による学年全員検定受検(1学年・2学年:ケンブリッジ英検、3学年:GTEC検定版)
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の自立に向けた主体的活動の充実 ・作品制作や相互評価による自己肯定感の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した協働学習・及びロールプレイの実施 ・18歳成人へ向けた主権者教育、消費者教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部連携をしながら体験的な活動を行うことで、専門性を高めるとともに進路活動における語れる経験を構築していく。 ・レポート作成や調べ学習により、資料を読み解く力や文章でまとめる力の充実を図る。
商業	<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ・ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・ビジネスに関する検定資格の取得に向けた支援を行う。 ・企業や外部団体と連携し、より実学的で実践的な授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部との連携を通じて、職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 ・授業内でビジネスプランに関するプレゼンテーションの機会を充実させる。 ・外部団体主催のコンクール等へ積極的に促す。